



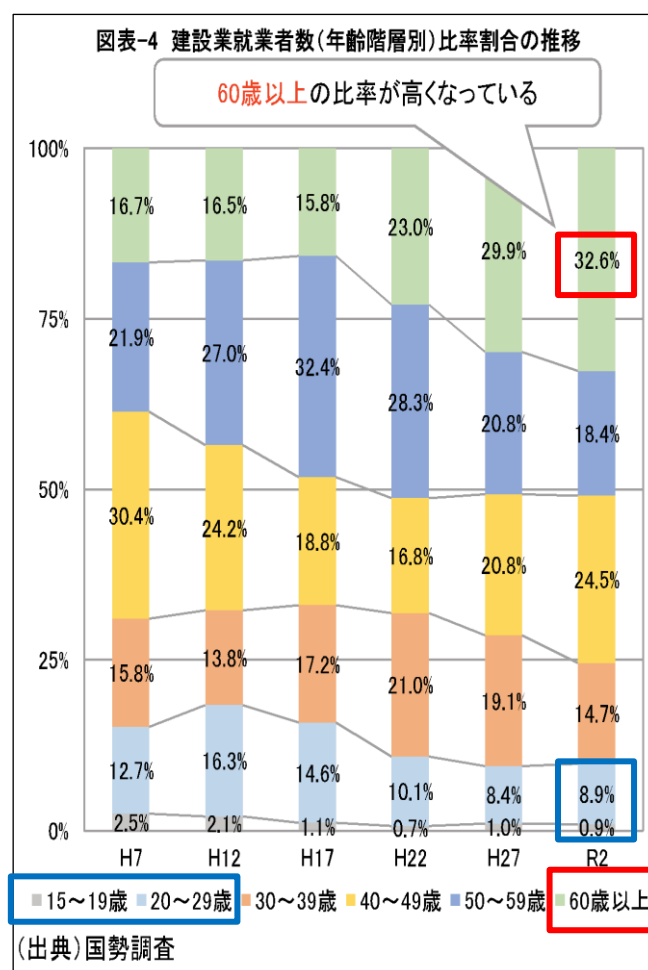
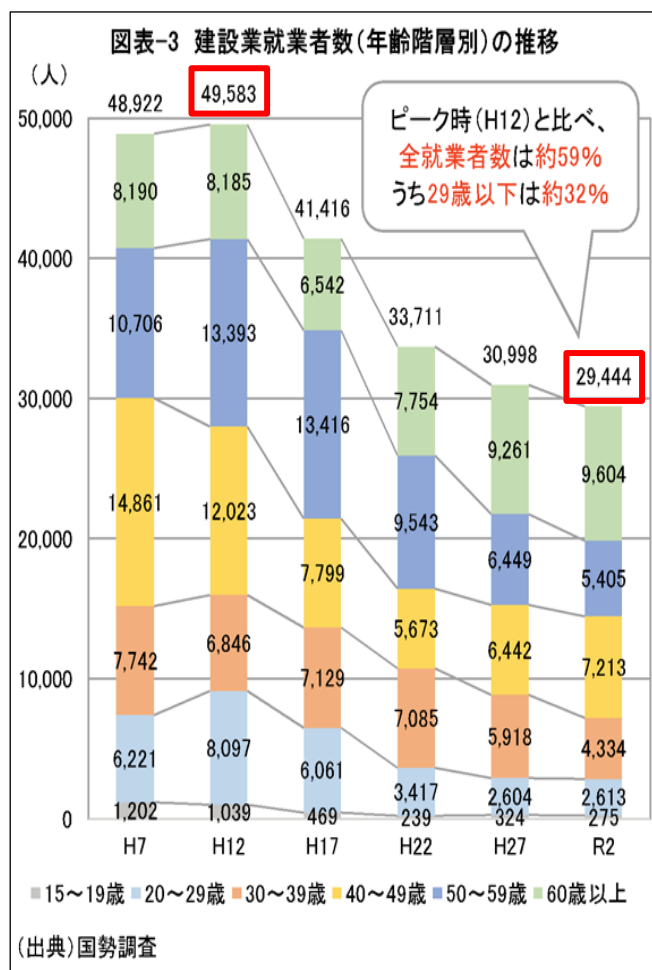
県内建設分野における 外国人材の状況等について

令和7年2月 島根県土木部



県内における建設業従事者数の推移

- 県内の**建設業従事者数**は、ピーク時（H12）の**約59%まで減少**
- 従事者数全体に占める**60歳以上の従事者**の割合が**3割を超える**一方、**29歳以下**の従事者の割合は**1割にも満たず**、**高齢化が進展**



建設産業における外国人材の状況(県内)

- 近年、県内の建設業従事者数は約30,000人で推移しているが、**外国人材の人数は増加傾向** (外国人材のシェアは総従事者数の約1.9%程度)
- 外国人材のうち**約3割を占めているのがベトナム人材**

(単位:人)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
建設業従事者数	30,998	-	-	-	-	29,444	-	-	-	-
うち外国人	92	121	146	181	240	309	324	331	465	547
うちベトナム人	8	21	45	74	119	139	139	111	144	142
外国人に占めるベトナム人の割合	9%	17%	31%	41%	50%	45%	43%	34%	31%	26%

(参考)他分野を含めたベトナム人材の活躍

- 県内にお住いの外国籍の方で2番目に多いのがベトナム国籍の方
- 2023年10月には、ベトナム人の労働者数が、ブラジル人を抜いて、県内最多に
- 製造業をはじめ、幅広い分野で活躍されている状況

1. 島根県内におけるベトナム国籍者の人口

※島根県文化国際課調べ(2024年1月1日時点)

国籍	ブラジル	ベトナム	フィリピン	中国	韓国	その他	全国籍計
人数(人)	3,114	1,668	1,074	1,072	522	2,135	9,585
構成比(%)	(32.5)	(17.4)	(11.2)	(11.2)	(5.4)	(22.3)	(100)

2. 国籍別 外国人労働者数

※島根労働局調べ(2024年10月末時点)

国籍	ベトナム	ブラジル	フィリピン	中国	インドネシア	その他	全国籍計
人数(人)	1,480	1,216	668	511	472	1,328	5,675
構成比(%)	(26.1)	(21.4)	(11.8)	(9.0)	(8.3)	(23.4)	(100)

3. 産業別 ベトナム人労働者数

※島根労働局調べ(2024年10月末時点)

産業	製造業	卸売業、小売業	建設業	医療、福祉	宿泊業、飲食サービス業	その他	全産業計
人数(人)	883	167	142	69	62	157	1,480
構成比(%)	(59.7)	(11.3)	(9.6)	(4.7)	(4.2)	(10.5)	(100)

※上表2、3の労働者数は、県内事業主からハローワークへ届出のあった人数を集計したもので、実際の外国人就労者数とは必ずしも一致しない

外国人材を取り巻く状況の変化

(1) 育成就労制度の創設(技能実習法の改正)

- 制度目的を「技能移転による国際協力」から「人材育成及び人材確保」に改正
- **転籍の制限緩和（制限期間3年→1～2年）**
 - ⇒ **大都市圏への人材流出が懸念**

(2) 外国人材のトレンドの変化

- 現在、建設分野に携わる外国人材のうち**相当のシェアをベトナム人が占めている**
- 一方、所得水準の向上や円安の影響により、**ベトナムからの人材供給のピークは落ち着きつつある傾向**

技能実習計画（建設関係）認定件数におけるベトナム人の割合

H30:63.4% R元:62.4% R2:62.4% R3:55.0% R4:44.2% R5:46.9%

⇒ **コロナ前は6割以上を占めていたが、低下傾向**

⇒ 外国人材のコアを占めている**優秀なベトナム人材の確保が徐々に厳しくなる**ことが想定

島根県とベトナムとの交流強化

①ベトナムとの国際定期便就航に向けた取組

- 令和5年12月、**島根県とベトナム航空**（※）が**国際定期便を目指す旨の覚書締結**

※ベトナムを代表するフラッグキャリア（元・国営企業）

- **令和6年5月**に出雲縁結び空港とノイバイ国際空港（@ハノイ）との**直行便（チャーター）を実施**、**令和7年3月にチャーター第二弾を実施**（2025年3月21日～25日）

- **令和7年度も継続的にチャーターを実施予定**

⇒ **島根から直行する移動手段を活用**することが可能



②ベトナムとの関係性強化

- **島根県とベトナム航空との覚書**は、ベトナム首相が出席した「日越経済フォーラム（令和5年12月16日）」において、「**日越投資案件**」として**選定**

- **5月チャーターの就航記念式典**にベトナム大使が出席するなど、**ベトナム大使館と連携**



2023年12月16日 日越経済フォーラム（会場：ホテルニューオータニ）
※ファム・ミン・チン首相が立会



2025年5月25日 就航記念セレモニー（出雲縁結び空港）
※駐日ベトナム大使館にエウ大使、ベトナム航空日本支社アイン総支配人が参加

島根県とベトナムとの交流強化

③チャーター便を活用した交流強化の取組

- 5月チャーター初便には**丸山知事が搭乗**し、在ベトナム日本国大使館**伊藤大使をはじめとする日系機関に対して**、様々な分野での交流拡大に向けた**トップセールスを実施**
- また、首都ハノイに隣接する**フート省を表敬訪問**し、**地方レベル間でも交流深化**

●ベトナム・島根県交流促進セミナー（5月25日）

- ・ベトナムと島根県の交流活発化を図っていくため、

在ベトナムの日系機関を招待して開催

<日系機関>

在ベトナム日本国大使館
ベトナム日本商工会議所
JETRO ハノイ事務所
JNTO ハノイ事務所



伊藤大使ごあいさつ



参加者どうし意見交換

●フート省訪問（5月26日）



クアン委員長との面会



ベトナムをモデル・ターゲットとする理由

● 島根とベトナムとの交流深化

- ・ 直行便（ベトナム航空）の利用が可能
 - ・ 駐日ベトナム大使館や現地の日系機関（在ベトナム日本国大使館など）からのサポート
- ⇒ 直行便就航や関係性深化といった「つながり」や「ご縁」を活用することで、人材確保の促進が図られるのであれば、県内企業にとってメリット

● 圧倒的なボリューム（ピークは落ち着きつつあるとはいえ…）

- ・ ベトナムから日本への送出国数（技能実習生, 2023年）：約8万人
※インドネシア：約4万人、ミャンマー：約1.5万人
- ・ 今後も「横ばい」で推移するのではとの予測
- ・ 帰国した技能実習生が多い（「特定技能」等で再度日本で働きたいというニーズあり）

● 行政の関与

- ・ 他県における取組
愛媛県：ベトナムのベンチエ省（地方政府）及び現地の送出国数（ESUHAI社）と協定・覚書を締結し、人材確保を目指す
- ※国によっては行政が関与しにくいケースもある

*ベトナムをモデルとして確立した取組（現地機関へのアプローチ方法、人材の育成・定着に必要な取組）は、他国人材にも有効

外国人材確保の促進に向けた取組

①ベトナム人材に対する理解を深めるための現地視察の実施

- 外国人材受入に関する制度や人材の確保・育成・定着のために必要な取組について理解を深めるための勉強会（県内）の実施
- 外国人材への関心やニーズを高めるため、ベトナム現地を訪問し、教育・訓練の状況を視察

②有力な送出機関や教育機関とのネットワークの構築

- ベトナム人材を育成し、輩出する現地の有力な送出機関や教育機関とのネットワーク構築に向けて、現地訪問や意見交換を実施



□現地の有力機関に対して、直接、島根の生活環境や受入企業での活躍状況などをPRできる機会や環境を作っていく

□県内事業者とこれらの機関とのマッチングを促進し、人材確保につなげる

今後のスケジュール(案)

2025年 2月中旬 現地視察に向けた事前訪問

2月下旬

関心のある企業・団体を対象とした勉強会

- ・ベトナム及びベトナム人材について
- ・先行取組事例
- ・現地視察案の説明

3月21日 チャーター第二弾
～25日

2025年 6～7月

チャーター第三弾(予定)

・現地視察の実施

以降も、国内外で継続的な取組を実施

<取組例>

- 県内事業者向けセミナーの開催
 - ・ 現地視察で得られた知見を広く共有し、更なる関心やニーズの向上を図る
- 現地訪問第二弾
 - ・ 人材確保につなげるため、県内企業と現地の送出国機関や大学とのマッチングを図るイベントを実施

